

浅間学園

施設入所事業 / 短期入所事業 / 生活介護事業
共同生活援助事業 / 相談支援事業

長野県 軽井沢町にある障がい福祉事業所です。
上記のような事業を展開している中で、大切にしているものは
「関わる人の心」利用者さん、支援するスタッフ それぞれの
個性を認め合い、夢に向かって挑戦する姿に皆んなで拍手を
送り、皆んなで喜びを分かち合う、そんな場所を目指しながら
当事業内だけでは完結しない広がりのある事業所を
展開しております。

私たちは「ソーシャルワーカー」

色々な角度からの視野を持つプロ集団

是非 私たちと一緒に働いてみませんか？

〒389-0111

長野県 北佐久郡 軽井沢町 長倉3725
社会福祉法人 育護会 浅間学園

TEL 0267-45-5379 FAX 0267-45-0760
e-mail:asamagakuen33212@alpha.ocn.ne.jp



F・Hashiba



otoasobi

表現を大切に

利用者さんの表現を大切に支援を行っています。

絵を描いたり ものを作ったり ジャンベを叩いたり

何もしなかったり 多くのプロ講師を招き、支援スタッフと

協力し、利用者さんの表現をサポートしています。

・あなたの得意な表現はなんですか？

絵を書くこと 音を奏でること スポーツ

ダンス おしゃべり カラオケ

あなたの得意を支援の場で活かしませんか？

地域と繋がる

昭和29年に発足という長い歴史の中で変わりゆく

福祉の中で私たちはいつも地域と共にありました。

地域の中で支えられ 地域の中で育てられ

地域と繋がり地域と考える福祉を展開しています。

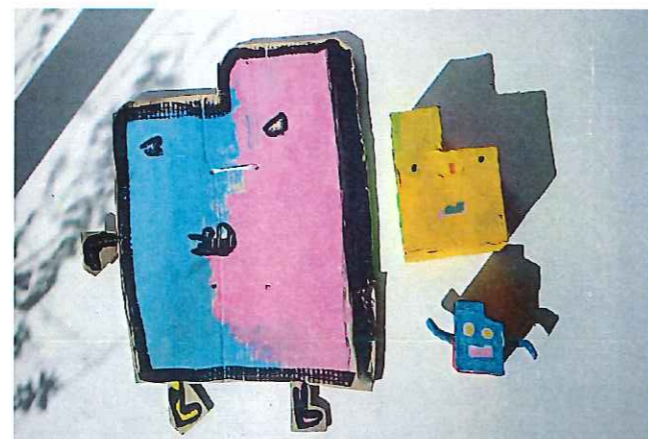
私たちにできることを

私たちなりに地域と関わっています。

浅間学園で暮らす方々と共に

あなたが考えるアイデア

地域福祉の中で実現しませんか？



R・Kosuda

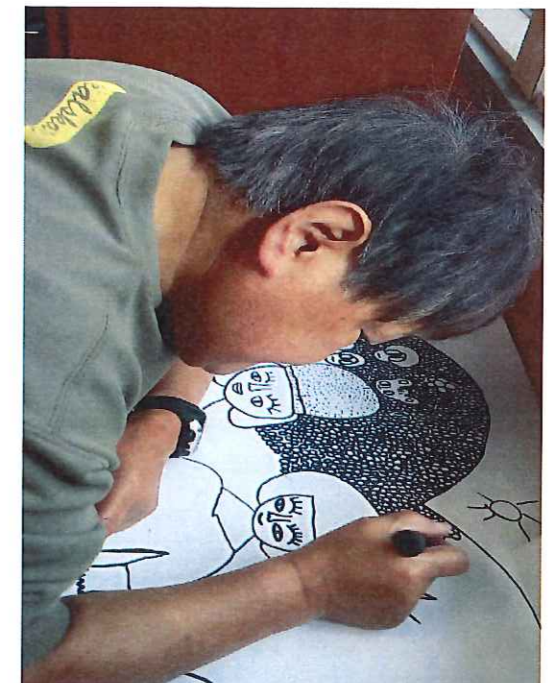
日常は多種多様

利用者さんが作る日常を大切に考え
支援を行っています。

浅間学園だけでは終結しない
支援を行っています。

更新
現状に満足しない「update」を
意識した支援を行っています。

「そう!! 支援方法は多種多様」



atorie pokke

2019年 4月 入職 先輩の声

私は、今年の4月から浅間学園の新人職員となり働き始めました。私が就職する前に不安だったことは、人間関係です。学生の頃とは、全く違う環境の中で職員の方々と上手くやっていけるか不安でしたが、実際就職してみて、浅間学園で人間関係に関して悩むことはないと思いました。職員の方々は、良い意味でさらっとしている方が多いのでとても働きやすいです。また、私が働き始めて困ったことは、利用者の方々の試し行動です。今は、先輩職員に聞いたり、関わっていく中で少しずつ軽減されています。私は、日々利用者の方々と関わりの中で新しい発見や利用者の方々の笑顔を見ること。または、先輩職員方の励ましやアドバイスのおかげで毎日を充実させ頑張ることができています。

小林 未菜

上田女子短期大学 卒業



ここで働こうと思ったきっかけは、「ごん太祭り」というイベントのボランティアに参加させていただいたときに職員の方が利用者の方々の気持ちを尊重し、寄り添って関わっており、利用者の方々もとても生き生きとした表情をしているのを見て、この施設で自分も働きたいと感じました。働き始めてから約三か月が経ちますが、利用者さんが少しでも生活していきやすいような支援を目指したり、働いていてやりがいを得ている毎日です。

小須田 七海

上田女子短期大学 卒業



入職してから3か月経ちましたが、浅間学園は利用者の要望に迅速に応えられるような「自由さ」や「臨機応変さ」が特徴であると感じています。そのため、利用者のその日・その時の思いを職員が汲み取り、支援に活かしていくという意識が強く、実際に実現できていると思います。また、職員のやりたいことや得意なことを支援に反映させやすい環境が整っており、自分次第で無限に支援が広がっていく施設です。私自身まだまだ慣れないこともありますが、少しずつ自分の個性を出していき、私でしかできないやり方で利用者の生活を彩ることが出来たら良いと考えています。

吉川 大亮

長野大学 卒業

